



子どもたちに『**必然**』のある活動の中で、『**言葉への自覚を高め**』ながら、『**学びの自覚**』を積み重ねることで、子どもが主体的に「言語能力」を獲得していく授業になります！

①「学び方を選択する」

『言葉への自覚を高める』ための 学び方を選択を！



「言葉への自覚を高める」
＝「言葉による見方・考え方」を働かせる

小(中)学校学習指導要領解説
国語編 P.12 をチェック!!

★「選択する」ためには、「学び方」を知って、身に付けることが必要です。



②「考えを再構築する」

『必然』のある交流を通して 自分の考えを再構築する場を！



「再構築」＝自分の考えを
確かにすること／広げ深めること

小(中)学校学習指導要領解説
国語編 P.37、38「共有」をチェック!!

★そのために、他者に説明したり、
他者の考えと比較したりすることが
必要です。



③「学びを次につなげる」

導入から終末まで**適宜**、**評価・助言** することで、『**学びの自覚**』を！

小(中)学校学習指導要領解説 総則編
小 P.93～、中 P.91～「学習評価の充実」をチェック!!

★自分の学習状況を自覚できると、
次の学びにつながっていきます。

